

新入生の声

4月9日の入学式から4ヶ月が経とうとしています。
新入生の皆さんに、奈良高専へ入学した感想を聞いてみました。

機械工学科1年 松内 秀直

小学校や中学校の内容の勉強からかけ離れ、将来へ向けて専門的なことを学ぶ事は非常に良い事だと思っています。

機械設計製図、機械工学入門そして機械工作実習、こんな文字を見ると、いかにも難しそうですが、内容は高校一年生にも分かりやすく、楽しく学ばせてもらっています。

電気工学科1年 中野 史博

入学当初、私は環境も中学の時と全く違うこの奈良高専で頑張っていけるのかと不安でした。しかし、4ヶ月経った今では友達もでき、充実した学校生活を送れています。これはクラスの雰囲気が良いことや、授業においても楽しく学習できているからだと思います。今後も仲間と絆を深めながら、高専生活を満喫していきたいです。

電子制御工学科1年 高岸 涼平

僕が奈良高専に入ってきたことは、5年制だということです。普通の高校より2年も長いので、僕がやりたかったロボコンに集中して取り組めるので、とてもうれしいです。

情報工学科1年 大野 優

奈良高専に入学して不安なことがたくさんありましたが、今はクラスや部活動に馴染み、同級生や先輩方とも楽しんでます。

勉強、クラブで忙しく、体調を崩すこともありましたが、一生懸命頑張っています。

物質化学工学科1年 林 大朔

奈良高専に入学し、学校生活や行事で仲間を知り、今ではすっかり高専生です。また、奈良高専はオタクではなく、運動系の学生が多いことにも気づきました。新入生諸君、留年するなよ!



カウンセラーだより

『青年期の課題』

臨床心理士 松浦 純子

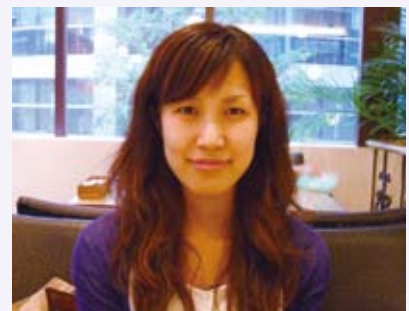
新年度も3分の1が過ぎ、夏季休業を目前にすることとなりましたが、みなさんいかがお過ごしでしょうか?特に1年生は、新しい仲間や教員との出会いの中、充実感たっぷりでもあった人、初めての前期中間試験を終えてホッとしている人、何か不安で緊張状態だった人、身体やこころの折り合いをつけてなんとか夏休みを迎える人…と、各々がさまざまな想いでいることでしょう。

大人への階段を一步步登っている最中の皆さんの「心」は、周囲の色んなことに敏感で、理由もなく腹立たしく思えてイライラしたり、悲しくて涙が止まらなくなったり、気持ちが不安定になったりすることがよくあります。

皆さんがいる青年期という時期は「自分が何者であるのか」、「自分がやりたい

ことは何なのか」、「社会の中での自分の位置づけは?」などという問いに対する答えを模索する中で、自分らしさ(アイデンティティ)を確立していく時期です。この自分らしさの確立という課題を達成させるために、悩み、時には何かうまくいかないことで自分自身を責めたり、誰かと比べてみじめになったり、日々なんとなくつらい、気力がわかない等の思いを抱える人もいます。また、時には家庭の問題に思い悩むこともあると思います。

この時期に不安定になり悩むことは当然のことであり、それがこの青年期を通過するための儀式ではありますが、悩みの末に気力がわかない状態の中で、学校生活を送っていくと、遅刻や欠席が増えたり、授業に集中できずに、勉強がづらいものになったり…という事態も考えられ

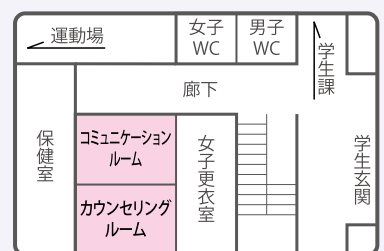


ます。深刻な事態になる前に、友人や先生、家族など自分が話せる人に聞いてもらい、一緒に考えてもらえるだけで、気持ちが楽になることがあります。より良く、自分らしく、学校生活を送ることができるように奈良高専のカウンセリングルームもそのお手伝いができるかと思えます。秘密を厳守し、話を聴き、解決の糸口を一緒に考えます。どうぞ気軽に利用してくださいね。

本校では、各学科及び、特別相談員の先生方の相談の他に、松浦カウンセラー(臨床心理士)によるカウンセリングを行っています。一人で悩みを抱え込んでしまわずに、なんでも相談を持ちかけてください。みなさんの一人一人が、より豊かで充実した学生生活を送ることができるようお手伝いをしたいと考えています。

利用方法	学生相談室・保健室で予約できます。(予約制ですが、可能な限りその場で相談に応じます。)
開室時間	心理カウンセラー(臨床心理士)が対応します。月・水曜日 14:00~17:00
場所	本館1階 保健室横 カウンセリングルーム
カウンセリングの方法	カウンセリングは原則として1対1ですが、保護者や友人と一緒に受けることもできます。

カウンセリングルームは、あなたが悩みを打ち明けたい場所でありたいと来室をお待ちしています。



本館1階